

認定権者記載欄		

様式第5 - (イ) - ①

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-①)

令和 年 月 日

小田原市長 守屋 輝彦 殿

住所・所在地
申請者 法人名
代表者職氏名

印

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、(注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)

※表には営んでいる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載（当該業種は全て指定業種であることが必要）。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

減少率 _____ %
(小数点第2位以下切捨)

A : 申込時点における最近3か月間の売上高等 _____ 円 (注3)

B : Aの期間に対応する前年の3か月間の売上高等 _____ 円 (注3)

※減少率は小数点第2位以下切捨で記載すること。

添付資料

指定業種を営んでいることがわかる資料
(取り扱っている製品・サービスなどを確認できる書類、許認可証など)

上記の売上高がわかる書類等 (月別試算表、売上台帳、市所定の売り上げ証明書など)

会社の実在確認書類等
法人の場合：法人税確定申告 (別表一)、法人事業概況説明書、履歴事項証明書など
個人の場合：確定申告 (第一表) など

(注1) 本様式は、1つの指定業種に属する事業のみを営んでいる場合、又は営んでいる複数の事業が全て指定業種に属する場合に使用する。

(注2) _____ には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(注3) 企業全体の売上高等を記載。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

上記のとおり、相違ないことを認定します。

第 一 号

令和 年 月 日

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

小田原市長 守屋 輝彦